

紀北農業者の会が 野菜の栽培地見学会を開催しました

紀北農業者の会は、平成20年に紀北町と尾鷲市の農業者同士の交流や情報交換を行う場として設立されました。紀北町相賀桜町では朝市「さくらふぁーむ」（開催日：毎週日曜日・水曜日、8：00～9：30）を運営しており、会員の方たちが栽培した新鮮野菜や果物を販売しています。また、近年ほとんど栽培されなくなっていた地域特産物である「セレベス」（里いも）の復活栽培に取組み、去年から当会の目玉商品として販売をしています。

7月13日（木）に開催された栽培地見学会には14名が参加して、会員4名の栽培地を見学しながら情報交換を行いました。また、アドバイザーとして迎えた紀州地域農業改良普及センターの吉田技師には、野菜栽培に関する質問が多く寄せられていました。

